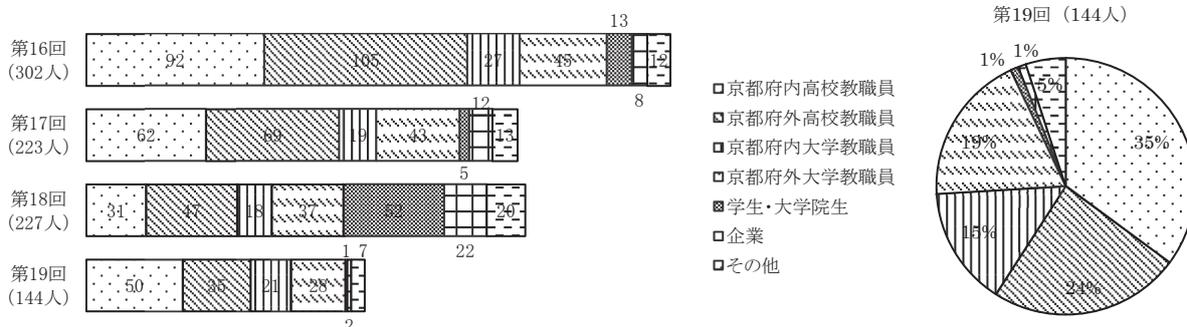
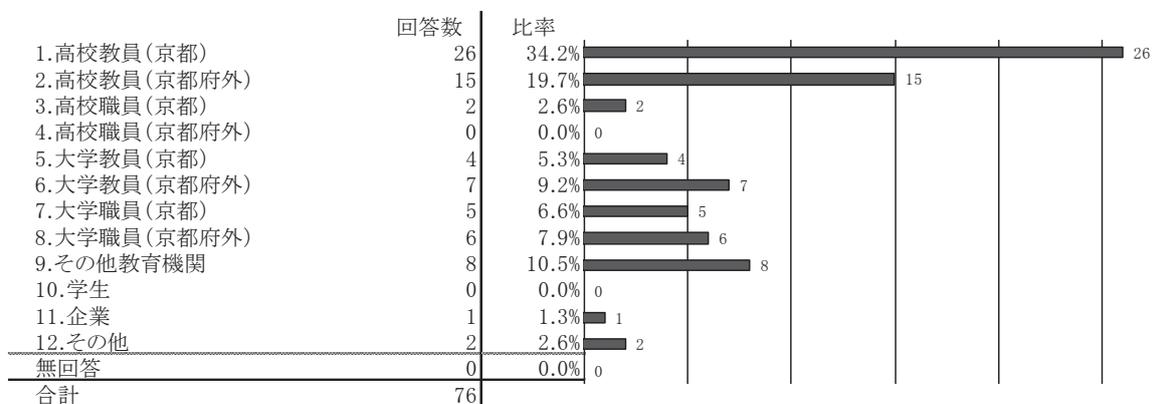


## 第 19 回高大連携教育フォーラム 参加者アンケート結果

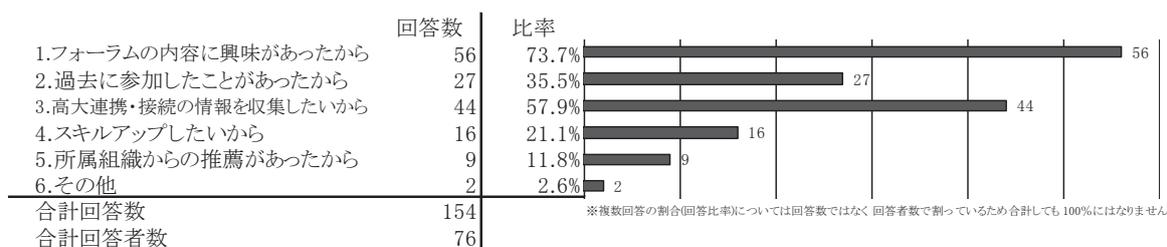
### (1) 参加者数及び内訳



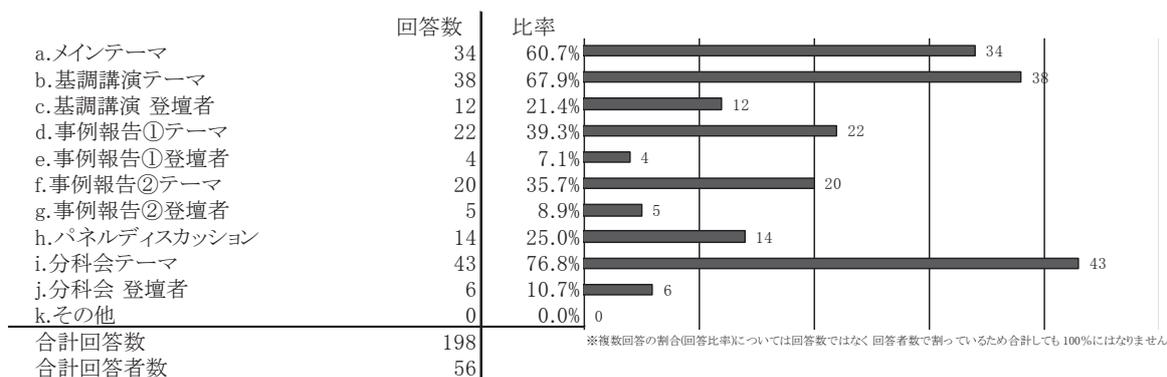
### (2) 回答数及び内訳



### (3) 参加理由 (複数回答可)



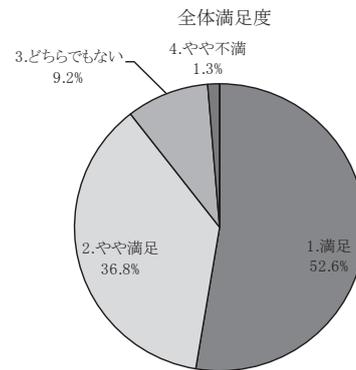
### (4) 興味があった内容の内訳 (複数回答可)



## (5) 満足度

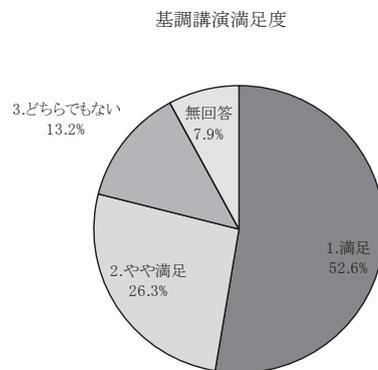
### ◆フォーラム全体

	回答数	比率
1.満足	40	52.6%
2.やや満足	28	36.8%
3.どちらでもない	7	9.2%
4.やや不満	1	1.3%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	76	



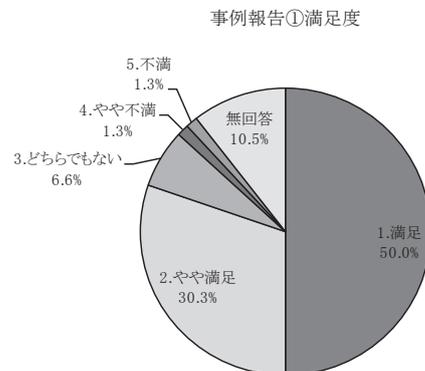
### ◆基調講演

	回答数	比率
1.満足	40	52.6%
2.やや満足	20	26.3%
3.どちらでもない	10	13.2%
4.やや不満	0	0.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	6	7.9%
合計	76	



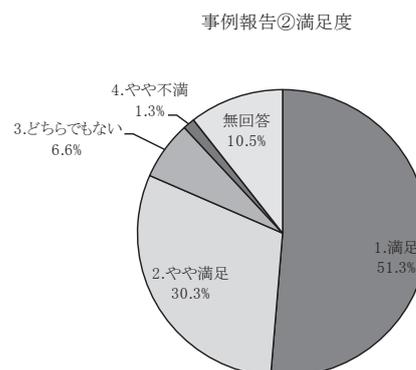
### ◆事例報告①

	回答数	比率
1.満足	38	50.0%
2.やや満足	23	30.3%
3.どちらでもない	5	6.6%
4.やや不満	1	1.3%
5.不満	1	1.3%
無回答	8	10.5%
合計	76	



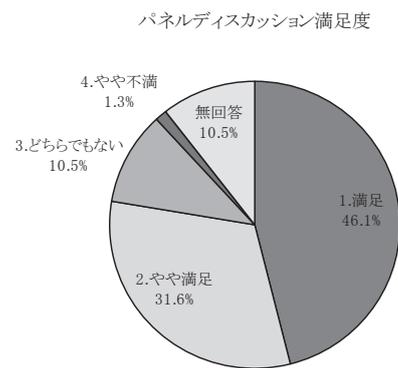
### ◆事例報告②

	回答数	比率
1.満足	39	51.3%
2.やや満足	23	30.3%
3.どちらでもない	5	6.6%
4.やや不満	1	1.3%
5.不満	0	0.0%
無回答	8	10.5%
合計	76	



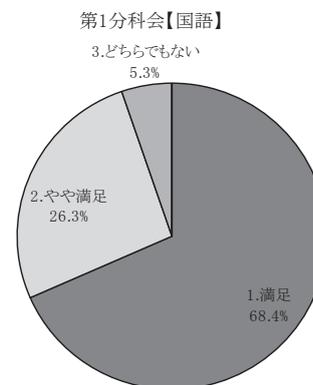
◆パネルディスカッション

	回答数	比率
1.満足	35	46.1%
2.やや満足	24	31.6%
3.どちらでもない	8	10.5%
4.やや不満	1	1.3%
5.不満	0	0.0%
無回答	8	10.5%
合計	76	



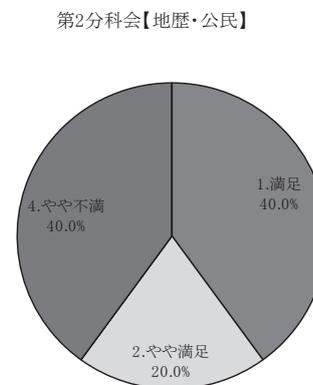
◆第1分科会【国語】

	回答数	比率
1.満足	13	68.4%
2.やや満足	5	26.3%
3.どちらでもない	1	5.3%
4.やや不満	0	0.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	19	



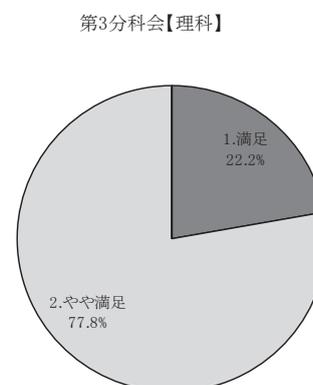
◆第2分科会【地歴・公民】

	回答数	比率
1.満足	2	40.0%
2.やや満足	1	20.0%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.やや不満	2	40.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	



◆第3分科会【理科】

	回答数	比率
1.満足	2	22.2%
2.やや満足	7	77.8%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.やや不満	0	0.0%
5.不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	9	



## (6) ご感想やご希望、その他ご意見（抜粋）

### フォーラム全体

- ・オンラインではあったが、議論を通して考えを整理することができ、理解が深まった。また、たくさんの参考になる情報を得ることができた。
- ・高校における探究活動やそれに係る高大連携・大学入試について理解を深めることができた。
- ・今後さらなる高大連携が求められる中で、その先進的な事例に触れることができた。また、今後、日本の教育の大きな転換点になり得る「探究的な学び」の導入について、幾つか貴重な観点が得られた。
- ・参加者同士の意見交換をし、知識交流をする機会が得られた。話し足りないくらいであった。
- ・先生方の日々の実践を共有していただくことで、大学も高校も変わろうとしている現状を知ることができた。
- ・探究活動が高大連携・接続の中でどのような意味合いを持つのか、とてもよく理解できた。
- ・盛りだくさんの内容、豊富な事例で大変満足している。一方で、当事者の体験を踏まえたとご講演が多かったからこそ、もう少し質疑の時間を取っていただければ、より具体的、個別的な質問ができたのではと思う。
- ・今まで中学校との連携・連続性を重視してきたが、大学進学率が高まる中、高大連携において、何を重視すべきなのか、なぜ「探究」が必要なかがよく理解できた。

### 基調講演

- ・エビデンスが多く、大学での実践例と実際の学生の様子など、非常にリアルなお話で、とにかく分かりやすかった。
- ・これからの高校での学びに必要なこと、「受験」という壁に向かって高校での授業と大学の入試が変わらなければならないことなどについて考えを深めることができた。
- ・大学の先生が高校の探究に求めていることがよく分かった。
- ・探究への関心が薄い先生方もいる中で、探究の必要性について説得力を持ったお話が聞けたほか、「学習」から「探究」に変更された理由や変更内容についても再確認、整理することができた。
- ・探究的な活動を経験した学生が、大学での学びの中で資質・能力を発揮していることが資料から窺われ、探究的な学習をすることの効果を確認することができた。
- ・入試を通じて生徒を育てること、という話がとても印象深かった。探究学習の意義を再確認できた。
- ・非常に明快に解説いただき、点と点が一気に線になった思いで感銘を受けた。探究学習の重要性を再認知した。

### 事例報告①

- ・「地域」における学校の果たす役割というのは、個人的に興味をそそられるテーマであり、その具体的事例として、大変勉強になった。
- ・学校としての理念や取り組みの内容が分かりやすく、かつ共感できるものであった。
- ・探究活動の具体的な取り組みから学校側の工夫、苦慮しているところなどがよく分かった。
- ・地域と結びついた、必要感のあるリアルな状況下での探究的な学びを通して、生徒が成長していく姿に感銘を受けた。特に成果を地域に還元していることや、地域の中での学校の役割が確立しているところが素晴らしいと感じた。
- ・地域を巻き込んで、地域の中心となって活動する生徒の姿に感銘を受けた。この取り組みを継続させている先生方の努力がしのばれるし、地域の方々の温かい視線が感じられた。
- ・取り組み自体が素晴らしく、活動を支援する体制など具体策についても丁寧にお話しいただいた。
- ・少子高齢化地域の高校の地域と一体となった先進的な取り組みが参考になった。「人みな使命あり」の方針が魅力的だ。

## 事例報告②

- ・「探究」を具体的にどのような形で導入したか、またそこにはどのような理念があったのかという、高校側の内実を知ることができ、大変勉強になった。
- ・何から始めたらよいか、どうすればよいか。悩んでいる部分があったので勉強になった。
- ・この報告は、どの高校でもすぐに活用できるとても良い事例だと感じた。
- ・前向きに生徒を中心に据えて考えて自己更新を続ける先生、とりわけ外とつながる意欲に溢れた先生の話はいつでも感動的だ。
- ・対話を重視されている点にとっても賛同する。生徒が伸びる瞬間は、まさに教員や級友と対話をして、自分の興味関心が広がったときだと思うので、そのような時間を大切にしたい。
- ・先生は伴走者でもあるが、自分の探究として取り組んでいるからこそ進んでいくと感じた。
- ・先生方のビジョンから探究にたどり着いた点など、新たな気づきをいただいた。
- ・開拓者として苦労された点が、現状の本校の取り組みの参考になる点があった。

## パネルディスカッション

- ・参加者からの質問をベースに、聞きたいことを聞かせていただく時間になっていたと思う。また、探究的な学びを推進していくヒントを得られた。
- ・探究活動の方向性がしっかりと確認できた。
- ・発表では分からなかったそれぞれの方のご意見や考え、取り組みなどを聞くことができ、取り組んでこられたことをより具体的に考えることができた。
- ・多様な観点からの高大接続の話は大変勉強になった。
- ・「大学組織と高校の連携」「大学の探究に関心ある教員と高校の連携」の差という点が、大変興味深いと思った。「探究が熱意ある担い手に属人的に依存している部分もある」というご指摘もあり、組織的に探究を活性化していく上での入試の重要性を再認識した。
- ・実践はどれも先生方の努力の結晶だと思いますので、それらの実践はとても学びが深いものだ。
- ・それぞれの想いが聞けてためになった。

## 第1分科会【国語】

- ・異なる立場からの発表や意見を聞き、非常に勉強になった。これから考えていくべきことを知り、その方法についてヒントをいただいた。
- ・進行もスムーズで参加しやすかった。最後の協議の発表は、同じお題でもいろいろなテーマが出てきて興味深かった。大学が現在どのような授業をしているのか、見てみたいと思った。
- ・自分の授業や問いを見直し改善していく良い機会とアイデアをいただけたと思う。前々から考えていたことを、自信をもって実施していこうと背中を押していただいた気がした。

## 第2分科会【地歴・公民】

- ・公民科での高大接続にとっても興味がわき、またその興味を十分に達成した内容であった。
- ・高大連携の実践における生徒の感想が聞けた一方で、質疑応答の時間が短いようにも感じた。

## 第3分科会【理科】

- ・探究的な学びのための方向性が見えた。
- ・大学で実践されている魅力的なプログラムを知れた。

### 特別分科会①【高大接続】

- ・大学の意見を聞く貴重な経験となった。可能性と課題について協議できたことは非常に有意義だった。
- ・大学側が高校生の探究活動をどのように入試で評価し、さらに大学の授業へどのようにして接続しようとしているかが明確に理解できた。
- ・大学側の意見と高校側の意見を摺り合わせるような場面が持てたと感じる。
- ・入試を主導されている方から直接その思いを知られたのがよかった。

### 特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

- ・生徒たちが経験やコミュニケーションを通して学び、成長する姿、またその場を設定されていることに感激した。私たちもさらにアクションを起こしていきたいと感じた。
- ・とても重要な振り返りとアウトプットの場にオンライン上で同席させていただけるという、初めての体験だった。全体発表よりむしろ、グループ内での共有や、発表準備での話し合いの中に、高校生・大学生たちの素直な気づきが多かったように思った。
- ・生徒・学生たちは今回の経験を前向きに捉えており、今後の学びや人生に活かしていくことを共有する機会を与えられたことはとても意義があったと思う。